

令和2年度 第7回
日野市教育委員会定例会議事録要旨

令和2年（2020年）10月8日

日野市教育委員会

令和2年度第7回日野市教育委員会定例会

開催日時 令和2年(2020年)10月8日(木)
14時02分～14時45分

開催場所 506会議室

出席委員 教 育 長 米田 裕治 委 員 高木 健夫
委 員 西田 敦子 委 員 真野 広
委 員 東 桜子

欠席委員 なし

議事録署名委員 委 員 西田 敦子

事務局出席者 教 育 部 長 村田 幹生 教 育 部 参 事 高橋 登
教 育 部 参 事 志村 理恵 教 育 部 参 事 谷川 拓也
(兼 議 事 録 記 録 係)
庶 務 課 長 伊藤 浩一 生 涯 学 習 課 長 関 健史
学 校 課 長 久保田 博之 統 括 指 導 主 事 田村 孝夫

傍聴者 なし

書記 庶務課庶務係長 馬場 康二
庶務課主事 大矢 千尋

議事内容 別紙のとおり

この議事録は事実と相違ないことを認め、ここに署名します。

議事録署名
委 員

西田 敦子

議事録署名
教 育 長

米田 裕治

議事内容

議案

- 第 3 1 号 教育委員会職員人事の専決処分について
- 第 3 2 号 教育委員会職員の分限休職の専決処分について

協議事項

- 第 4 号 日野市立八ヶ岳高原大成荘の廃止について

報告事項

- 第 1 4 号 令和 2 年第 3 回日野市議会定例会の報告
- 第 1 5 号 令和 2 年度就学援助申請者数及び認定者数
(令和 2 年 4 月～令和 2 年 6 月)
- 第 1 6 号 令和 2 年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数
- 第 1 7 号 要綱の制定及び改廃の報告 (令和 2 年 7 月～9 月)
- 第 1 8 号 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告
(令和 2 年 4 月～令和 2 年 9 月)

(議事の要旨)

開始 14時02分

[米田教育長]

ただいまから、令和2年度第7回教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事録署名は、西田委員にお願いいたします。

本日の案件は、議案2件、講義事項1件、報告事項5件です。

なお、議案第32号は、公開しない会議とし、会議の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認め、議案第32号は会議規則第10条の規定により公開しない会議とし、会議の最後に審議します。

それでは議事に入ります。

議案第31号・教育委員会職員人事の専決処分について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第31号 教育委員会職員人事の専決処分について

[伊藤庶務課長]

議案書1ページをご覧ください。議案第31号・教育委員会職員人事の専決処分について、ご説明いたします。提案理由でございます。教育委員会職員に対する人事異動に伴う人事発令について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により人事発令を行いましたので、報告し承認を求めるものです。次ページをご覧ください。令和2年10月1日付の発令、対象者は6名でございます。職層名、職務名、氏名等については記載のとおりでございます。説明は以上でございます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。なければご意見を伺います。

よろしいでしょうか。

なければご質問・ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。教育委員会職員人事の専決処分について、を原案のとおり承認することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認めます。議案第31号は原案のとおり承認されました。

協議事項第4号・日野市立八ヶ岳高原大成荘の廃止について、事務局より説明をお願いします。

○協議事項第4号 日野市立八ヶ岳高原大成荘の廃止について

[関生涯学習課長]

それでは、協議事項第4号・日野市立八ヶ岳高原大成荘の廃止について、ご協議をお願いいたします。恐れ入ります。議案書5ページをお開きください。日野市八ヶ岳高原大成荘は、学校教育活動及び社会教育活動の振興、市民のレクリエーション活動のための林間宿泊施設として、山梨県清里に県が所有する学校寮地区に昭和40年に設置し、これまで小学校移動教室、市民の方を多く受け入れてきました。

平成9年度の利用者、15,600人があって以降、近年では、余暇活動の多様化、設置場所である清里の観光地としての集客力の低下により、利用者は年々減少しています。このような状況下で、平成18年度に集客増、収支の改善を期待し、指定管理者制度を導入いたしました。平成30年度から新たに5年間の指定管理者の指定をしたところでございますが、年間7000万円の指定管理料、その他経費、減価償却費を含め、毎年1億2000万円の経費を要する状況で、経営改善の努力をしているものの、集客増及び収支の改善には結びついていない状態です。

また、現在の施設は平成5年2月の開設から27年が経過し、建造物や設備の老朽化が顕著となっており、今後、宿泊施設としての機能を維持するための修繕や、設備の更新に約3億円の経費が必要と見込まれております。一方、市の財政状況が厳しくなる中、平成29年度行政評価においては抜本的見直し、第5次日野市行財政改革大綱では収支改善、在り方と方向性の決定の検討がそれぞれ指示されたところです。そして令和2年2月には、日野市財政非常事態宣言が発出され、今後市財政は益々厳しくなることが確実となっております。

これらを踏まえ大成荘の在り方について検討した結果、今後の事業継続は困難であり、大成荘の近隣には移動教室及び市民の保養施設としての代替施設があることから、早急に事業を取りやめ、令和3年3月をもって廃止する結論に至りました。

本協議事項といたしましては、日野市立八ヶ岳高原大成荘についての閉鎖をご協議いただきたいと存じます。なお、廃止の結論に至った詳細については、6ページ以後に掲載しています。

以上で説明を終わります。ご協議のほど、よろしくお願い申し上げます。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたらお願いいたします。

[真野委員]

今ご説明がありましたが、指定管理者制度について、少しお尋ねしたいと思います。集客増、また、サービスの向上、収支の改善などを期待して、導入した指定管理者制度であります。具体的に取組んでこられた内容等を教えていただければと思います。

[関生涯学習課長]

集客の増加を図るものとして実施しているものとして、閑散期の2名利用の際に1名あたり1000円を割り引くキャンペーンを行っております。また、大成荘から清里駅間のタクシー代を片道について1000円の助成。レンタカーの助成。利用にあたっての友の

会ポイントの交換。平成元年度の新規事業として、10月の平日利用の促進を目的としたワンドリンクサービス。それから宿泊者へのサービス向上ということで、ミニ自然観察会やクラフト教室、星空観察会などのイベントも実施しております。また、市内のミニバスへの中吊り広告、東京都市町村職員共済組合の会員誌への掲載、それから七生支所でのディスプレイ等、広報活動も行っている状況でございます。これらに取り組み、利用の増加を図ってきたものでございます。

以上です。

[東委員]

廃止の結論を出す前に、今後の在り方を検討するためにも、利用者である市民にご意見などは聞いているのかどうかと、その結果はどうだったのかを教えてください。

[関生涯学習課長]

広くパブリックコメントということでは実施しておりませんが、日野市役所の市民窓口課に来庁された方、それから子育て世代をターゲットに、2階の子ども部にお越しになった方を対象に直接職員がアンケートを取りました。この直接アンケートを取った方が143人、それからインターネットによる呼びかけのアンケートということで、187人、計330人の方の回答が得られたということです。それと実際に使っている方、宿泊者について81人の回答を得て、それぞれの利用状況、知名度等、それから廃止した場合に代替施設の利用を考えているか、それと含めて現在税金として一人当たり1万円程度かかっているということを周知するという目的もございまして、アンケートを実施いたしました。

[米田教育長]

他にご質問はございませんか。なければご意見を伺います。

[高木委員]

ただいま大成荘を廃止する旨の説明や詳細の報告書等を拝見して、私自身、八ヶ岳高原大成荘の廃止についてはやむを得ないという判断をしております。その理由については、1つには日野市の財政状況が、本年2月に日野市財政非常事態宣言が発出され、益々厳しくなる中で、大成荘の近年の日野市の年間運営経費が1億2000万強となり、財政負担が非常に重いこと。

それから2つ目として、今後の大成荘の維持に関しては、開設後27年が経過し、平成27年3月策定、日野市立八ヶ岳高原大成荘長期修繕計画書では、3億2600万の経費が見積もられており、客室へのエアコン設置等の要望を踏まえると、更なる経費の発生が見込まれること。

そして3つ目として、これまでの市民保養施設や小学校移動教室などの利用に対しては、大成荘周辺の他の自治体所有の施設の利用が運用費用面でも可能であること。

以上の観点から、長年の多くの市民のみなさんに親しまれてきた施設として大変残念ではありますが、このような状況では、大成荘の廃止についてはやむを得ないと判断しております。

ただ一方、現地での管理運営について、先ほど指定管理者制度の説明もございましたけれども、廃止に関しては従業員のみなさんの雇用を始め、多くの影響、課題があると考えております。日野市としての丁寧な対応が必要だと考えますので、ぜひよろしくご願

たします。

以上です。

[真野委員]

先ほど質問もさせていただきましたが、指定管理者制度を導入して、いろいろ取り組んでこられた内容をお伺いしました。しかしながら、日野市の財政非常事態宣言を受けまして、大成荘の運営の収支状況、それから建物の老朽化に伴う修繕計画などを踏まえすと、少しでも早い段階で廃止をしていくことが必要ではないかと考えました。

私からは1点、移動教室について意見を述べたいと思います。これまで大成荘ありきで移動教室を実施してきているわけですが、移動教室本来の目的に立ち返って、その学習効果を最大化するためにどうしていけば良いのかを立ち止まって考える良い機会だと捉えて進んでいただきたいと思います。

以上です。

[東委員]

先ほどご説明もいただきましたが、市民の4割が利用したとされる、それぞれの思い入れのある場所であることを考えると、とても心苦しくて残念ではありますが、開設の平成5年から4年後の平成9年をピークに利用者が減少しているということ、ランニングコストとして、お1人のご利用ごとに1万円等の市の持ち出しがあるということ、今後も大規模な修繕が必要であることなどを考えると、現在の日野市の財政としては非常に厳しいことが理解できます。小学校の移動教室や市民の利用の代替施設も、具体的に想定ができていることをご説明いただきました。特に移動教室に関しては、新たな価値を生み出せるチャンスと捉えて考えたく、今回の大成荘の事業継続は致し方ないことだと思います。

以上です。

[西田委員]

私は平成5年に建てられた大成荘も、それ以前の大成荘も5年生を引率して何度も使用しましたので、楽しい思い出がたくさんあります。特に建て替えられた直後に移動教室に行ったときに、当時では珍しい円形型の建物に子どもたちが歓声を上げたことや、広い構内に目を見張っていたことなどを思い出しますと、失うのは残念な気持ちがします。障害者青年学級の夏期合宿や、地区育成会キャンプでもずっと利用してきましたから、関係者のみなさんも同じような気持ちではないかと思っています。

しかし、ただいま説明がありましたように、施設の維持費や、施設維持のための修繕費用や、利用客が年々減少していることや、日野市の厳しい財政のことなどを考えあわせると、これ以上の施設維持は無理かと思っています。幸い、移動教室の宿泊先も大成荘に代わる施設があることが確認できたということですので、残念な気持ちは残りますが、廃止に賛成いたします。

[米田教育長]

昭和40年、開設のときに、名称を大成荘、この名前のおり、子どもたちのための林間施設として開設した、日野市のみなさんの想いはこの言葉に込められているのだと思います。今の施設の前の大成荘、それから現施設の大成荘、双方とも子どもたちに、そして日野市民にとっても愛された施設でした。

ただ、市の財政状況と現状の掛かっているコストと、それから利用状況、今後の修繕等のコストを考えると、やはり大きな決断をしなくてはならないのかということで、廃止ということに、私もそういう考えです。

ただこの名前に込められた、人々がそこでいろいろな新しい力を得て、そして大きく羽ばたいていくんだという、そういうことについては、子どもも大人もそうだと思います。近隣のいろいろな施設とも協力をしながら、各委員がお話もされたように、もう一度この機にいろいろな角度から取り組みについて考えていくということをとおして、本来この施設に込められた想いについてはしっかりと、より発展させるような形で、取り組んでいければと思いますし、教育委員会としても、そういう環境を作っていくのが仕事だと思います。残念ではありますが、廃止についてはやむを得ないという中から新しいものを作りたいと思いますので、私はそういう思いです。

他にご意見はございませんか。

なければ協議事項第4号を終了いたします。

報告事項第14号・令和2年第3回日野市議会定例会の報告について、事務局より報告をお願いします。

○報告事項第14号 令和2年第3回日野市議会定例会の報告

[伊藤庶務課長]

議案書7ページをご覧ください。報告事項第14号・令和2年第3回日野市議会定例会の報告をさせていただきます。次ページをお開きください。

一番上、1. 会期は9月1日(火)から9月28日(月)の28日間でした。

その下、2. 一般質問です。質問者21名、うち教育委員会関係は9名、質問件数は31件、うち教育委員会関係は9件でした。要旨等については、9ページ以降の別表1のとおりでございます。

その下、3. 議案です。市長提出議案は30件、うち教育委員会に関するものは6件、また、議員提出議案3件、うち教育委員会に関するものはございませんでした。議案の内容についてそれぞれご説明します。(1)令和元年度日野市一般会計決算の認定については、認定されております。(2)日野市発達・教育支援センター条例の一部を改正する条例の制定については、可決されております。(3)令和2年度日野市一般会計補正予算(第8号)でございます。可決されております。補正総額は歳入歳出ともに2,458,001千円、うち教育費は940,978千円でございます。予算総額は歳入歳出とも91,242,223千円、うち教育費は10,391,266千円でございます。内訳については、14ページから15ページの別表2のとおりでございます。(4)日野市立豊田小学校東校舎改築建築工事請負契約の締結については、可決されております。(5)日野市立豊田小学校東校舎改築電気設備工事請負契約の締結については、可決されております。(6)日野市立豊田小学校東校舎改築給排水衛生設備工事請負契約の締結については可決されております。

その下、4. 請願についてです。教育委員会に関するものが1件ございました。「1年単位の変形労働時間制」導入のための都の条例制定をやめ、教職員の長時間労働解消のため

の施策を求める請願は、不採択となっております。

説明は以上でございます。

[米田教育長]

事務局からの報告が終了しました。ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

[高木委員]

定例会の学校教育関係について、議員さんからの質問があるわけですが、その中でまず11ページの峯岸議員からの質問、教員の働き方改革として実施した成果についてですが、特に学校経営補佐の配置校では成果が上がっていると答弁されていますが、具体的な成果の内容についてご説明いただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

[久保田課長]

こちらの学校経営補佐の実績につきまして、別途お手元に資料をお配りしております。そちらでご説明をさせていただきたいと存じます。

小学校全17校のうち、学校経営補佐を置いている学校は1校、日野六小でございます。その実績といたしまして、令和元年度で申し上げますと、過労死ラインと言われております、月80時間以上の時間外労働を割いているという学校で見ますと、小学校全17校では、51%の副校長が時間外労働を行っているという形になります。学校経営補佐を配置しております日野六小で見ますと、80時間以上の月はなく、45時間以上というところで見ますと、年間4か月、4月、5月、7月、10月の4か月で、45時間以上の時間外労働があったというところで、これにつきましては大きな成果が上がっているというところがございます。

それから中学校でございます。中学校につきましては、全8校のうち配置しているのが1校ということございまして、こちらで見ていただきますと、令和元年度では全8校のうち80時間以上の時間外労働をされた方が、割合で言いますと35%という形になります。配置をしている学校で見させていただきますと、80時間以上という実績はございませんでした。45時間以上は年間をとおして8か月あったということでございます。まだまだ45時間以上ということで決して少ない時間ではございませんが、配置をしている学校としていない学校の差は非常に大きいと認識しております。今後もより多くの学校に配置できるよう努力をして参りたいと考えております。

以上でございます。

[米田教育長]

他にご質問・ご意見があればどうぞ。

[高木委員]

続いてになりますが、12ページの、白井議員から、今後の市立幼稚園についての在り方についての質問について、今後の市立幼稚園の在り方については、日野市立学校適正規模、適正配置等検討委員会に諮問し、方向性を出していくものと考えている、というように答弁されていますが、具体的な設置、諮問の時期について現時点でのお考えを伺いたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

[久保田学校課長]

市立の幼稚園につきましては、これまで、学校教育への滑らかな接続に向けた教育、そ

れから特別支援の充実ということで、大きな役割を果たしてきたと認識しております。ただ一方、保育園需要の高まりというのが世の中の大きな流れとしてございます。そのような中で、今後、市立幼稚園が今まで培ってきたものをどう生かしながら、どうしていくのかというところにつきまして、令和3年度の予算で、こちらの適正規模、適正配置検討委員会を開催させていただいて、ご検討いただきたいという形で、いま予算の確保を考えているところでございます。

以上でございます。

[米田教育長]

他にございませんか。

なければご質問・ご意見はこれにて終結いたします。

報告事項第15号・令和2年度就学援助申請者数及び認定者数（令和2年4月～令和2年6月）について、事務局より報告をお願いします。

○報告事項第15号 令和2年度就学援助申請者数及び認定者数
（令和2年4月～令和2年6月）

[伊藤庶務課長]

議案書17ページをご覧ください。報告事項第15号・令和2年度就学援助申請者数及び認定者数（令和2年4月～令和2年6月）について、ご報告いたします。

次ページをご覧ください。当該期間の、就学援助申請者数、認定者数、否認定者数につきまして、小中学校別の内訳及び合計の数字を記載しております。小中学校合計の人数を申し上げますと、申請者は1568名、認定者については、要保護が105名、準要保護が1328名、否認定者が135名となっております。なお、参考といたしまして、過去4か年のデータを下の表に記載しております。

報告は以上でございます。

[米田教育長]

事務局からの報告が終了しました。ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

[西田委員]

ただいまのコロナ禍の中で、申請制度として具体的にどのような対応を行っていたのかについてお話いただけますでしょうか。

[伊藤課長]

まず1点目に新型コロナウイルス感染症への対応として、通常は前年の所得で判定をしますが、今年になって家計が急変したような場合に、現在の給与から年間の所得を算出して、就学援助の認定基準となる場合には認定をしております。今年については、家計急変による申請は27件、うち認定を受けた方は24件でございました。

2点目としまして、窓口での受付の他に、郵送での受付も実施しておりました。こちらの受付件数は226件でした。

それから3点目としましては、通常は5月末を締め切りにしておりましたが、緊急事態宣言も出されておりましたので、今回につきましては6月まで延長して、6月に受付をし

た方も4月1日に遡っての認定とさせていただきました。

以上でございます。

[米田教育長]

他にございませんか。

なければ、報告事項第15号を終了いたします。

報告事項第16号・令和2年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数について、事務局より報告をお願いします。

○報告事項第16号 令和2年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数

[伊藤庶務課長]

議案書19ページをご覧ください。報告事項第16号・令和2年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数についてご報告いたします。

次ページをご覧ください。令和2年度高校生奨学金の認定数、否認定数などについて、学年別の内訳及び合計の数字を記載しております。合計の人数を申し上げますと、申請者は182名、認定が171名、否認定が11名となっております。なお、参考といたしまして、過去3か年のデータを下の表に記載しております。

報告は以上でございます。

[米田教育長]

事務局からの報告が終了しました。ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

[真野委員]

質問ですけれども、コロナ禍で、今回奨学金の申請について特徴的なことがございましたら教えてください。

[伊藤庶務課長]

コロナ禍における特徴的なことですが、先ほど報告事項第15号の就学援助の申請についてお話ししましたが、そちらと同様に、本来は前年の収入で所得認定をしているものなのですが、コロナ禍における家計急変世帯については、現在の給与から年間の収入を算出して所得認定をしております。申請は6月に行っていただき、7月に認定の審査をいたしました。コロナ禍における家計急変により申請をした方は8件いらっしゃいました。そのうち7件が認定となっております。

以上でございます。

[米田教育長]

他にございませんか。

なければ、報告事項第16号を終了いたします。

報告事項第17号・要綱の制定及び改廃の報告（令和2年7月～9月）について、事務局より報告をお願いします。

○報告事項第17号 要綱の制定及び改廃の報告（令和2年7月～9月）

[伊藤庶務課長]

議案書21ページをご覧ください。報告事項第17号・要綱の制定及び改廃の報告（令和2年7月～9月）についてご報告いたします。

次ページをご覧ください。当該期間におきましては、1件の要綱の改正がございました。要綱の名称、適用日、制定・改廃の内容については記載のとおりでございます。なお、要綱は、修学旅行や移動教室に参加した場合に、保護者の負担を一部補助するために必要な事項を定めておりました。今回の改正では、感染症拡大等の影響により急遽中止、または延期をすることになった修学旅行や移動教室のために、予約した宿泊施設、交通手段を解約した際に発生する違約金及び手数料においても補助とするものでございます。

報告は以上でございます。

[米田教育長]

事務局からの報告が終了しました。ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

[高木委員]

質問ですが、今回いろいろと改定があったわけですが、適用日を4月1日に遡ることについての考え方ですとか、あるいは、今回の改定について、適用が新型コロナウイルス感染症だけなのか、この辺について、もう少しご説明いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

[伊藤庶務課長]

4月に遡ったのは、4月以降に実施するものへの対応ができるようにということで、敢えて4月1日に遡ったものでございます。

感染症が対象かというご質問については、感染症拡大等の影響というところで要綱の中には入っておりますので、コロナに限らず大きな感染症が拡大した場合等についても対象となるものです。

以上でございます。

[米田教育長]

他にございませんか。

なければ、報告事項第17号を終了いたします。

報告事項第18号・日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（令和2年4月～令和2年9月）について、事務局より報告をお願いします。

○報告事項第18号 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告
（令和2年4月～令和2年9月）

[関生涯学習課長]

恐れ入ります。23ページをご覧ください。報告事項第18号・日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（令和2年4月～令和2年9月）についてご報告いたします。

次のページ、24ページから25ページまでについて、実施団体名、事業名、目的・内容等を記載しております。25ページ下段をご覧ください。令和2年度上半期における申請件数は14件です。内訳は、スポーツ4件、音楽・美術4件、後援会1件、イベント0

件、その他5件になっています。令和元年度は57件ですので、43件の減になっています。新型コロナウイルス感染拡大の影響から激減しております。また、感染予防を取りながら開催することを確認して承認を行っております。

報告は以上です。よろしく願いいたします。

[米田教育長]

事務局からの報告が終了しました。ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

[東委員]

催し物はコロナの影響を大きく受けていると思うのですが、特筆すべき点がありましたら教えてください。

[関生涯学習課長]

今までは会場で対象者を前にして行っていた事業が多くございましたが、今回、番号で言いますと7番、こちらにつきましてはオンライン講座での開催ということでございます。また、別のものになりますが、9番のサーカス、こちらは収益が出た場合についてコロナウイルスに対応している医療従事者の方に寄付を行いました。

[米田教育長]

他にございませんか。

なければ、報告事項第18号を終了いたします。

これより議案第32号の審議に入りますが、本件につきましては、公開しない会議といたしますので、関係職員以外の事務局説明員は退席しても差し支えないと思いますが、異議ございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

異議なしと認めます。

関係職員以外の説明員は退席をお願いいたします。

なお、本件の終了をもって、令和2年度第7回教育委員会定例会を閉会といたします。

(関係職員以外退室)

「教育委員会職員の分限休職の専決処分について」

は公開しない会議の中で審議

[米田教育長]

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了いたしました。これにて令和2年度第7回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 14時45分